

## 〈畑で土づくり〉

実施時期：平成 24 年 7 月 18 日～

準備するもの：畑 1㎡に対して野菜くずとパン 10kg～15kg，竹パウダー 1L，ブルーシート



① 畑に野菜くずとパンを小さくして表面に広げ、竹パウダーをふりかけ、10cm 程度の深さで耕し土と野菜くずを混ぜ合わせた。

② 土をかまぼこ状に高くもりあげ、ブルーシートをかけた。



③ 3日後、白カビが発生していた。臭いもほとんどない。一回目より少し深めに耕し、かまぼこ状にし、ブルーシートをかけた。1週間後、2週間後と同様に耕した。土が乾いていたら、水をかけてよく混ぜた。シートをかぶせて2週間以上寝かせた。



④ 生ゴミを入れて、1ヶ月以上おき、分解が完了した。カキガラ石灰を 500g 程度まぜて、1週間後に大根の種まきをした。

⑤ 12月20日、4本の大根を収穫。

## 〈畑でできた大根を使って〉

サラダや煮物を作った。  
ゆで干し大根を作って、保存できるように加工した。



葉は、漬物にしたり、ゆでて冷凍保存したり、炒め物やみそ汁の具にしたりした。  
野菜くず(にんじん、乾燥キャベツ)も6kg ※  
刻むように加工した。



②竹パウダーをまぶす（生ゴミの3分の1程度）

生ゴミ15L：竹パウダー5L

野菜くずのまわりにまぶさる感じ

しっとりするくらいに水をたす



③土とまぜる 土30Lくらい



3日に一回、全体的にまぜて、ときどき水分をたした。

途中白カビが生えたりして、野菜くずはなくなった。

一ヶ月くらいねかせて、にんじんの種をまいた。

## 〈その他の活動〉

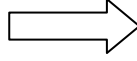
竹林伐採ボランティアへの参加



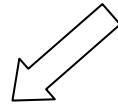
里山の保全活動をしている NPO 団体の竹林伐採のボランティアに参加した。  
伐採した竹は、竹チップにし、生ゴミを使った土作りに利用可能。



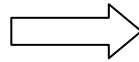
ミーティング風景。作業の前に  
体操などして体をほぐします。



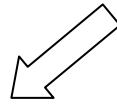
4年目くらいの竹を切ります。



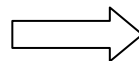
急傾斜地での伐採作業は、危険を伴います。



切りだされた竹に残っている小枝を刈り込み  
みます。



竹の長さを切りそろえます。

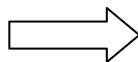


竹を粉碎する機械に入るように竹をハンマ  
で叩き揃えます。

体験

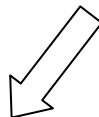






30本分くらいの竹を切りそろえて割りました。

機械にかけて竹チップにします。耳栓をしないと耐えられない音です。



竹チップの出来上がり。まだ水分を多く含んでいるので、各自天日干して乾燥しました。完全に乾くまで一週間ほどかかりました。

☆竹チップは、特別支援学級の子どもたちと一緒に学級園に野菜くずと一緒に利用しました。おいしい夏野菜を栽培予定。



野菜くずを足でふんで細かくする。



竹チップとまぜる。



土に混ぜ込む。